

項目	説明	
試料・情報の	研究課題名	高リスク前立腺がんに対する重粒子線治療後の PSA 推移の調査
利用目的 及び	研究対象者	2015 年 12 月から 2018 年 11 月までに当院で重粒子線治療を実施し観察期間が 5 年に達する 高リスク前立腺がん症例 164 例
利用方法	研究目的	日本国内において、高齢化とともに前立腺癌の罹患数が増えてきている。重粒子線治療は、前 立腺癌に対し良好な治療成績が報告されているが、高リスク前立腺がんに対する重粒子線治療 後、5 年間の観察期間を有する報告は乏しい。低・中リスクの前立腺がんの PSA 推移を調査 した先行研究では PSA が一過性に上昇し、再発の基準を満たした後に自然低下した例が認め られたが、高リスク前立腺がんの場合はどれくらいの割合で認められるかを後方視的に調査す る。それにより、PSA の自然低下例を排除した、真の再発例の割合を検討することができ、前 立腺がんに対する重粒子線治療の治療効果をより正確に評価できるようになる。
	研究方法	対象患者の重粒子線治療後の PSA 再発率について、重粒子線治療計画や診療録の情報をを用い て解析する。
	個人情報保 護	対象となる患者さんの診療情報には個人情報が含まれますが、氏名などの情報を削り、容易に 個人を特定できないように研究用の番号（識別コード）で管理します。個人と識別コードを照 合できるようにする対応表を作成しますが、パスワードロックや鍵をかけて厳重に保管し、院 外へ提供することはありません。
	研究期間	西 暦 2 0 2 3 年 1 2 月 4 日 ～ 西 暦 2 0 2 5 年 9 月 3 0 日
	利用又は提 供を開始す る時期	[X]総長が研究実施を許可した日 [] 西暦 年 月 日頃（研究の進捗によって前後いたします）
利用する試 料・情報の項 目（チェック [X]が入った項 目を利用しま す）	[]試料:	[]血漿、[]血清、[]全血、[]末梢血から抽出した DNA、 []病理検体(具体的に記載: _____)、 []尿、[]糞便、[]唾液、[]胸水、[]腹水、[]脳脊髄液、 []毛髪、[]その他(具体的に記載: _____)
	[X]情報:	[X]診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[X]年齢、[X] 生年月日、[X]性別、[]既往歴、 []併存疾患、[X]外来日・入院日・退院日、[X]臨床検査値、[]放射線診断や超音波検査、内 視鏡検査等の画像データ、[X]臨床所見・経過（予後追跡データを含む）、[] ゲノムデータ、 []看護記録、[X]その他(具体的に記載: <u>放射線治療計画データ</u>)
試料・情報 を利用する 者の範囲	当センター 研究責任者	所属・氏名 放射線治療科 島 聖
	共同研究機 関および責 任者	なし
	その他の機 関	なし
試料・情報の利用停止お よび情報公開に関する窓 口	施設名・所属・氏名・連絡先 神奈川県立がんセンター 放射線治療科 島 聖 利用停止のお申し出は 2023 年 12 月 31 日までをお願いいたします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、 患者さんのデータを廃棄できない場合があります	